

統合医療施設

患者さんに安全・安心・満足を届ける かかりつけ薬局

桜新町ファーマシー(東京都世田谷区)



世田谷区桜新町の「サザエさん通り」として知られる商店街にある薬局、桜新町ファーマシー。ここで代表を務める植田葉子先生は、長年の病院勤務後に独立し、薬局を開業した薬剤師だ。薬局内にいるスタッフのほとんどが女性だからなのか、忙しいなかにもなんとなく華やかさを感じる。植田先生は開業前からさまざまなことに関心を持ち、病院勤務時代からアロマセラピーやリフレクソロジーの学校に通うなど、幅広く学んできた経験がある。

「自分は薬剤師ですから、病気を治すにはもちろんお薬が大事であると思っていますが、発病するまでの過程で、活用できる癒しというのもあると思っています。場合によっては、それらで病気にならずに済ませることもできるはずです。そういったことに日頃から興味がありました」という。以前は、薬局内にリフレクソロジーを行うためのスペースを設けたこともあり、いつもトータルの癒しを模索しているのが伝わってくる。

現在は、近隣にある複数の医療機関から患者さんに出される約 80 枚の処方箋に毎日対応しており、調剤と投薬という薬局本来の業務で忙しい毎日だが、そのようななかで、病気の予防を目的にした「オーダーメイドサプリ」というものも取り扱っている。

●サプリメントは必要な種類を、必要な量だけ受注生産

オーダーメイドサプリとは、出来上がっているサプリメント商品を店頭で販売するものではない。まずは、その利用を希望するお客さんが、自身の体調やサプリメント利用の目的、予算などについて、アンケート形式で質問に答えることから始まる。アンケートは薬局からサプリメントメーカーに送られ、後日、その内容に応じてメーカーの管理栄養士がサプリメントの組み合わせを3通り提案し、薬局経由でお客さんに伝える。

お客さんは、そのうちの1つを選んで注文すると、オーダーメイドサプリが必要日数分、薬と同じような1回分の摂取量ごとに分封された形で薬局に届き、それを使用者が購入する、という仕組みだ。したがって、薬局で在庫を持つということはなく、すべてが受注生産によるサプリメントなので誰にとっても無駄がない。

「お客様にサプリメントの使用を積極的にすすめることは、今のところしていませんので、取り扱い数は非常に少ないです。それでも、健康に関するご相談を受けたときや、薬局のホームページをご覧になった方からお問い合わせをいただいたときには、いつでも対応できるようにしています。」

桜新町ファーマシーでは、自宅療養中の患者さんや、長期療養施設に滞在中の患者さんへの服薬指導業務も、開業当時から行ってきた。現在は10名ほどの利用者がいる。訪問先では、玄関先で事務的に用件が済むこともあれば、薬の服用状況を管理する専用カレンダーに細かく目を通すこと、最近の体調と薬について患者さんから相談を受けることもあり、それぞれ臨機応変な対応を行っている。

薬の調剤と一口にいっても、それを利用する患者さんの側に立って考えてみると、その仕事にはいつも細やかな工夫が求められている。たとえば、胃瘻を行っている患者さんの

薬は、希望に合わせて、できるだけ微細な粉末状にして出す必要がある。また、たくさんの種類の薬を一回に服用しなければならない患者さん向けには、薬の種類の数だけ袋を増やすよりも、一封開ければすべての薬が飲める、というように一包化したほうが患者さんは助かるはずだ。

こうした工夫の一つひとつには大きな責任が伴うため、細心の注意を払うことになるが、必ずしもその仕事内容がすべて薬価に反映されるとは限らない。調剤報酬について植田先生は、「薬剤師が頑張っているところをもっと評価していただければ嬉しいですね」と話す。

■桜新町ファーマシー

〒154-0015 東京都世田谷区桜新町 1-8-5

TEL : 03-5758-7736

FAX : 03-5758-7737

http://www.myph.jp/sakurasin_ph/pc/